

## 第62回全国労働衛生週間を迎えるにあたって

# 労働者の心の健康を確保し、働きやすい快適な職場環境の実現を

愛知労働局長 新宅友穂

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、突然の大地震とそれに伴う大津波により、多くの人命が失われ、東北地方を中心に未曾有の甚大な被害となりました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、平成23年度の全国労働衛生週間は

「見逃すな 心と体のSOS みんなでつくる健康職場」

をスローガンとして展開されます。

全国労働衛生週間は、昭和25年に第1回が実施されて以来、本年度で第62回を迎えます。この間、本週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚さ

せ、事業場における自主的な労働衛生管理活動を通じた労働者の健康の保持増進と快適な職場環境の形成に大きな役割を果たしてきたところです。

愛知県における業務上疾病による被災者数はここ数年増減を繰り返しており、平成22年の業務上疾病による被災者は429人となり、前年より60人（16・3％）の増加となりました。これは、景気回復の影響もあります。また、熱中症の急増が大きいものと考えられます。

およそ2人に1人の労働者に何らかの異常所見が認められる状況になっています。特に、脳・心臓疾患の発生に繋がる血中脂質、血圧、血糖検査に係る有所見率が増加傾向を示しています。

さらに、警察庁の発表によると、13年連続して全国で3万人を超える自殺者が発生しており、その内、約3割が被雇用者と言われています。また、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じる労働者の割合は約6割に上っており、労働者健康状況調査報告（平成19年度）によれば、メンタルヘルス上の理由により連続1カ月以上休

業し、又は退職した労働者がいる事業所の割合は7・6%であるという状況になっています。

このため、全国労働衛生週間実施要綱に基づいて、労働者の健康確保に向けた取組を推進することが重要です。

まず、メンタルヘルス対策に関しては、衛生委員会等の調査審議において、メンタルヘルスケアに関する事業場の現状とその問題点を明確にするとともに、その問題点を解決する具体的な実施事項等についての基本的な計画（「心の健康づくり計画」）を策定・実施することが必要です。そして、心の健康づくり計画の実施に当たっては、関係者に対する教育研修や情報提供を行うとともに、「セルフケア」、「ラインによるケア」、「事業場内産業保健スタッフ等によるケア」及び「事業場外資源によるケア」の4つのケアを効果的に推進し、職場環境の改善、

## 愛知労働局のホームページ

「愛知労働局ホームページ」をご利用ください。労働基準監督署・ハローワークの地図、相談窓口、労働関係情報等掲載しております。

アドレス <http://aichi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

問い合わせ先 愛知労働局総務部企画室（電話：052-972-0252）

メンタルヘルス不調者への対応及び職場復帰のための支援が的確に実施されることを望まれますが、これらのメンタルヘルス対策が円滑に行えるよう、愛知産業保健推進センター内に設置されているメンタルヘルス対策支援センターにおいてメンタルヘルスケアに関する取組の相談に応じておりますので、積極的な活用をお願いいたします。

次に、定期健康診断の有所見率の改善に関しては、第11次労働災害防止計画の目標として、「健康診断結果における有所見率の増加傾向に歯止めをかけ減少に転じさせること」を掲げています。この目標を達成するためには、定期健康診断及びその結果に基づく事後措置の確な実施に加え、労働者に対する継続的な運動指導、栄養指導、保

健指導等の実施、さらには、労働者自らが自主的に自発的に健康管理に取り組むことが重要です。また、労働者の健康確保と快適な職場環境の形成を図る観点から、受動喫煙のない職場の実現を図ることが必要となっております。

とが有効です。まだ導入されていない事業場におかれましては、導入に向けての早急な取組をお願いいたします。経営トップ、労働者、管理監督者、産業保健ス

タッフ等がそれぞれの役割と責任を認識し、組織的かつ積極的な取組により、労働者の心の健康が確保され、働きやすい快適な職場環境が実現されるよう祈念します。



労働衛生管理活動を的確に推進し健康確保のための対策の徹底を図るには、経営トップの強い決意とリーダーシップのもと、衛生管理者、産業医等の選任及び衛生委員会等の設置などによる労働衛生管理体制の確立が重要であり、労働衛生管理水準を着実にレベルアップしていかなければなりません。そのためには、リスクアセスメントを中核とする労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）を導入するこ

第62回全国労働衛生週間スローガン

見逃すな 心と体のSOS みんなでつくる健康職場